



2017年2月3日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社
代 表 者 名 社 長 松本 元春
コ ー ド 番 号 5214 東証第一部
問 合 せ 先 取締役常務執行役員 津田 幸一
TEL 077 (537) 1700

平成28年12月期連結業績予想値と決算値との差異、為替差益の発生、特別利益の計上（特別修繕引当金戻入額）、特別損失の計上（減損損失）、及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

平成28年4月28日に公表しました平成28年12月期連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異がございました。また、当期において下記のとおり、為替差益の発生、特別修繕引当金戻入額と減損損失の計上、及び繰延税金資産の取り崩しを行いましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成28年12月期連結業績予想値と実績値との差異 (平成28年1月1日～12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 248,000	百万円 19,000	百万円 14,000	百万円 10,000	円 銭 20.11
実績値 (B)	239,411	19,571	13,967	4,968	9.99
増減額 (B-A)	△8,589	571	△33	△5,032	—
増減率 (%)	△3.5	3.0	△0.2	△50.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年12月期)	251,177	22,034	14,272	9,636	19.38

2. 当第4四半期における為替差益の発生

主として、中国人民元に対して円安が進行したため、当社から中国子会社への融資に係る債権及び債務を評価替えしたことにより、当第4四半期（平成28年10月1日～12月31日）において、為替差益（47億91百万円）が発生しました。当第3四半期連結累計期間（平成28年1月1日～9月30日）において、営業外費用に計上した為替差損86億39百万円と、当第4四半期に発生した為替差益とを相殺し、連結業績における為替差損は38億48百万円となりました。

3. 特別修繕引当金戻入額の計上

一部のガラス溶解炉の将来の修理予定がなくなったことと、特別修繕引当金の会計上の見積もりを変更したことにより、特別修繕引当金を取り崩し、特別修繕引当金戻入額（89億11百万円）を計上しました。

4. 減損損失の計上

今後の使用が見込まれない重要な遊休資産について、減損損失（64億88百万円）を計上しました。

5. 繰延税金資産の取り崩し

当期の個別業績などを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産の一部を取り崩すこととし、法人税等調整額に計上しました。その結果、法人税等調整額は72億50百万円となりました。

6. 差異が生じた理由

上記2～5により、上表1のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回る結果となりました。

以 上